

ちば通研だより No.512

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫
住所: 〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内
FAX: 043-247-1201 E-Mail: syuwa@nifty.com URL: <http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

東京 2025 デフリンピック開催します

～誰もが住みやすい社会をめざす大会へ～

いよいよデフリンピックが11月15日から26日まで開催されます。

思い起こせば2022年9月9日、10日にオーストリア(ウィーン)で開かれた国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)総会にて、東京が2025年デフリンピックの開催地に正式決定しました。

1964年の東京パラリンピックを機に障害者への意識が変わり、東京2020パラリンピックにおいてさらにバリアフリー化が社会に浸透していきました。

そして、このデフリンピック開催をきっかけにデフスポーツの認知度を拡大し、コミュニケーションの壁を崩し、誰もが住みやすい社会へと変わっていく大会にしたいものです。

千葉県としても気運醸成を図るため千葉県聴覚障害者協会の開催するイベントに協力してきました。また、キャラバン隊が10月19日から26日までに来県し、大いに盛り上げてくれました。

成田空港にはたくさんの選手団が日本に来ます。気持ち良くお迎えをすることがこの大会を成功に導くスタートだと思えます。それができるのは、ここ千葉県の人たちです。日本に来て良かったと思ってもらえるのは、ここから始まります。皆さん気持ち良くたくさんの選手団をお迎えしましょう。ご協力をお願いする次第です。

※会場や日程を確認の上、応援に行きましょう。

10月28日時点でのちば通研の会員数は330人
(読者会員会員数は12人)
2025年度の目標数は350人です
数は力! みんなで会員を増やしましょう~



しゅわりん

関東通研からの報告

① 関東支部代表者連絡会議

9月28日(日)、10時から11時50分までオンラインにて開催。参加者は、本部理事2人、支部代表11人の合計13人でした。ちば通研からは阿部が参加しました。

関東ろう連との合同学習会を2026年2月14日(日)、会場未定 聴覚障害者災害対策中央本部委員の藤平淳一氏の基調講演とパネルディスカッションを開催予定。

② 代議員会ブロック別会議(関東)

10月4日(土)、10時から12時まで、神奈川県立かながわ労働プラザにて開催。参加者は、代議員24人、本部理事3人、オブザーバー3人の合計30人でした。ちば通研からは代議員の折原事務局長、野島組織部長、石鍋副会長、副会長の阿部の4人が参加の下、次の議題を協議しました。

2026年度 全通研の事業について、サマーフォーラムと学習会について、手話通訳制度調査検討委員会について、機関紙発行について、健康問題や組織運営上の業務について、ブロック別の取り組みや課題について。

③ 関東通研学習会

代議員会ブロック別会議の同日同会場で、13時から15時まで開催。参加者は、午前からの流れで代議員と支部からの参加者を交え30人、ちば通研からは午前中より4人が続けて参加しました。

学習内容は、「全通研ビジョンについて」のテーマで渡辺正夫会長から第1～3期までの経緯、全通研ビジョン2030策定、活動方針(つながる・たかめる・はたらきかける)を聴き、各県の取り組みの事例などを出し合い意見交換を行いました。

民間企業やIT企業など傍目の違う企業とのつながりを持ち、組織力を高めていくことの提案や福祉専門職種内であっても手話通訳業務・者に対する理解の不足が散見されること、SDGsに沿った思想理念に基づく活動、災害発生訓練を通じて行政と連携していくこと、健康対策学習と情報保障…など、積極的かつ活発な意見交換と情報共有が行われました。

(副会長 阿部 恵子)

手話の日イベント報告

9月23日(火・祝)10時からイオンモール船橋でのキャラバンイベントに行ってきました。

チーバくと、船橋のマスコットキャラクター船えもんも参加して式典がスタート。サインエールの紹介では、本番さながらの力強いエールを会場のみinnで息を合わせておこないました。

その後はサイレントゲームのイス取りゲーム。通常では音楽を止めたり、笛を合図にイスを奪い合ったりするのですが、きこえない人ときこえる人が一緒に楽しむには・・・? 太鼓をたたく?! フラッグを振る?! フラッシュランプで合図する?! 身近な日常の中でも、社会の中でも、みんなで楽しめる、みんなで同じ経験ができるそんな工夫が増えていくと良いなと感じました。さあ!いよいよ11月、デフリンピックが楽しみです!

(事務局長 折原 由紀子)

北総地区講座に参加しました

「未熟な社会との向き合い方」

10月11日(土)、川根紀夫さんを講師にお招きして、北総地区講座「手話言語条例の制定前後の活動と手話施策推進法の内容と動向」が松戸市ふれあい22で開催されました。会場54人、集団視聴21人、個人視聴16人、合わせて参加者は91人が参加され大きなイベントとなりました。



講演の冒頭に出てきた「国連の障害者権利条約、憲法、法律、条例」といった言葉に私たちは苦手意識があって、一歩引いてしまいがちです。しかし今回は、川根さんのお人柄なのか、拒否反応もなく、すんなりとお話しに入っていくことができました。

さまざまなお話しをされるなかで一貫していたのは、

◎「目的」を大切にしよう

◎使いにくい道具は使いやすいものに変えよう

◎社会や人の理解が必要であれば根気よく理解を求めよう

ということです。

私たちの社会はまだまだ未熟で、放っておいては、何も改善されません。各人が当事者として働きかけ続けてこそ、平等、自由、人権は獲得できるのだと、お人柄ですね、柔らかく諭されました。

(松戸班 渡辺 敏郎)

N-Action ちば 茶話会を開催しました！

9月27日(土)、11時から13時30分までN-Action ちばの茶話会をCafe & Dining オレンジで開催しました。参加者は、5人でした。子供も含めて楽しく交流することができました。

参加者から感想をいただきました！

幼い子を前に、言語獲得前の目の動きを学びながらおしゃべりしました。秋は行事も多く、デフリンピックもいよいよ開幕40日を切りました。参加者は少なかったのですがN-Action集合出来て嬉しかったです。



参加人数は少なめでしたが、お子さんを中心とした和気あいあいとした会になりました。リモートは手軽ですが、やっぱり会って話すのは良かったです。

(N-Action ちば代表 上利 理紗)

特集 キャラバンカーが千葉県を走る

10月19日(日)から26日(日)までの8日間、キャラバンカーが千葉県内を駆けめぐりました。このキャラバンカーのイベントは全日本ろうあ連盟の主催、千葉県聴覚障害者協会の主管で実施されました。

事前の準備、そして当日の各会場ではキャラバンカーの中に積み立てられている立て看板や金メダルのレプリカなどを並べる作業をして本番を迎えました。チーバくんの裏面には立ち寄った協会代表者のサインが書かれています。本当にお疲れ様でした。

特集の写真、コメントなどのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。
※ホームページの会員専用ページ「広報」ではカラー版で見ることができます。

(巡回場所の生命保険協会については、諸般の事情により割愛させていただきました。)

(広報部長 渡辺 正夫)

特集 キャラバンカーが千葉県を走る

1 我孫子市（茨城県から引き継ぎ）



10月19日(日) 時間：10:00-12:00
 会場：あびこショッピングプラザ
 デフリンピックの熱気、我孫子から！

2 野田市



10月20日(月) 時間：10:00-11:00
 会場：野田市役所1階ロビー
 野田出身デフサッカー瀧澤選手登場で大盛況

3 流山市



10月20日(月) 時間：12:30-13:30
 会場：流山市 キックマンアリーナ
 がんばれ日本！ がんばれ瀧澤選手！

4 松戸市



10月20日(月) 時間：15:00-16:15
 会場：松戸市 テラスモール
 松戸市出身、早瀬久美選手めざせ金メダル！

5 市川市



10月21日(火) 時間：9:30-11:30
 会場：市川市役所
 市川市在住の2選手にエールを送りました

6 筑波大学附属聴覚特別支援学校(関係者)



10月21日(火) 時間：12:30-13:00(予定)
 会場：筑波大学附属聴覚特別支援学校
 メダル(レプリカ) 習志野市会場で撮影

7 浦安市



10月21日(火) 時間：14:10-14:40
 会場：浦安市役所（ゴルフスクール EPAC）
 寒風にも負けずサインエールで盛り上がる

8 船橋市



10月21日(火) 時間：15:00-16:15
 会場：船橋市役所
 サッカー岩淵選手と山本監督に市長が激励

9 千葉県庁



10月22日(水) 時間：9:00-10:50
 会場：千葉県庁
 熊谷知事とたくさんの参加者で盛り上がる

10 東金市



10月22日(水) 時間：12:30-13:30
 会場：東金市役所 南総通運株式会社
 雨の中集合。皆の想いが伝わりますように

11 千葉銀行



10月22日(水) 時間：14:45-15:00
 会場：千葉銀行本店
 応援メッセージ入りの横断幕を受け取る！

12 千葉市



10月22日(水) 時間：15:10-15:45
 会場：千葉市役所
 皆さんと一緒に、熱いサインエールを送る！

13 成田市



10月23日(木) 時間：9:30-11:00
 会場：成田市役所
 「しゅわしゅわダンス」をみんなで踊る！

14 富津市



10月23日(木) 時間：13:00-13:40
 会場：富津市役所
 手話で絆が繋がれたひとときでした！

15 佐倉市



10月23日(木) 時間：15:30-16:30
 会場：佐倉市 市民体育館
 長内選手と陸上部顧問・後輩、手話の仲間！

16 四街道市



10月24日(金) 時間：8:50-9:20
 会場：四街道駅北口広場
 デフリンピックのチラシを配布して気運醸成

17 四街道市



10月24日(金) 時間：10:00-11:20
 会場：南部総合福祉センター わろうべの里
 スタートランプデモ実施サインエールを送る

18 八千代市



10月24日(金) 時間：13:30-14:30
 会場：八千代市 中央図書館
 手作りパネルで柔道吉良選手をやっちと応援

19 習志野市



10月24日(金) 時間：16:30-17:15
 会場：習志野市役所
 大勢の市民と宮本市長・職員で声援を送る！

20 八街市



10月25日(土) 時間：9:30-10:45
 会場：八街市 中央公民館
 福祉フェスタとコラボで大盛況！

21 千葉聾学校



10月25日(土) 時間：11:30-12:00
 会場：千葉県立千葉聾学校
 银杏祭参加者とミミゾウ君とエールを送る

22 袖ヶ浦市



10月25日(土) 時間：13:00-14:30
 会場：袖ヶ浦市 市民会館
 袖ヶ浦出身、サッカー高木桜花選手も参加

23 安房特別支援学校



10月25日(土) 時間：15:30-16:15
 会場：安房特別支援学校 館山聾分校
 サークル員手作り内輪、横断幕で歓迎

24 海ほたる



10月26日(日) 時間：10:00-11:30
 会場：海ほたる
 神奈川県へ、千葉の熱い想いを乗せ引継完了

「福祉の現場を経験して しろろが語る！」 Vol. 8

コミュニケーションの基本と方言(私論)

若い頃全通研講座で「コミュニケーションの基本」の講演を聞いたことがあります。コミュニケーションは四つの要素で成り立っていると。一つ目は発信者、二つ目が受信者、三つ目が伝えたい内容(メッセージ)で、四つ目がそれを乗せる媒体手段。その後私は発達障害者の特徴に「会話・意思疎通の困難」があることを学びました。言葉の意味をある程度映像化し図やカード・絵や身振り・サイン等駆使して発信することで受信がよりスムーズになる。相手に分かる方法で伝える努力をしない限り発信者の思いや意図は伝わりません。

例えば鹿児島では「お酒」という言葉も「サツマイモ」という言葉も全く使われません。鹿児島の人に「サツマイモはどこに売ってますか」と聞いてもぼかんとされます。明治期より私たちはあれを「からいも」としか呼びません。手話通訳は音声言語としての日本語にあっても手話にない語彙や、手話にあっても対応する音声言語がない場合どんな作業をしてメッセージを伝えているでしょう。言い換えや省略・付け加え・映像化等を瞬時に言い言葉を一度メッセージとして組立て直し相手に少しでも意味が伝わる表現方法に加工して、多様な発信作業に努めていると思います。

これは手話がどのようにして生まれ発展し広まったかを考えると分り易いと思われれます。

日本の手話は明治期の盲ろう学校創成の時代から始まったと言われており、ろう学校の同窓会OB活動を通して地域に定着し広まったとされています。つまり手話自体が方言と同様の成立ちを経ている。地域限定で使われても細かなニュアンスまで十分に伝えられる大切な文化です。日本統一の手話や新しい手話が出来あがったのは、テレビ等のマスコミで番組ができてからのことです。

養護学校在籍時に「手話通訳のことをもっと知りたい」との要望があり、先生方の前でお話しする機会を設けました。手話表現(情報発信)と読取り(受信)の二つの場面があること。「発信者の伝えたい意味が伝わらないと通訳とは言えない」というと「??」なため、聞こえない人の暮らしや文化をふまえ個人の教育歴や手話獲得の有無・語彙の多寡・得意なコミュニケーション手段等勘案した上で発信する。「聞こえないイコール手話」ではない。ケースワーカーの時関わった未就学ろうあ者の話もしました。すると「スクールサインを選ぶ上で何を優先させるべきか」の議論となり「絵図が得意な子にはそれを活用、身振りが得意な子はそこに着目すべき」とか話しました。私は自分の境遇を思い出しました。15才で上京後言葉に苦しんだこと。当時の私は外国人労働者と同じで、それまで郷里で何事もなく通じた言葉が突然理解してもらえない世界でパニックに陥りました。言葉が変というだけでいじめられました。この状況を打開するには「一から標準語を覚えるしかない」と覚悟を決めました。

コミュニケーションが苦手な自閉症の子どもたちと向き合う時まず注意すべきは、相手が一番得意なことは何か、一番なじんでいる手立ては何かを見極めること。現在では視覚を活かした図絵・記号・マカトン手話等手立ては実に多様にあります。要は支援者側が豊富なコミュニケーションの手だてを身につけ用意しておくこと。気づきの感度を高めておくことで相手に選択の自由が担保され門戸は開く。こうした考え方は最近では「障害者の意志決定支援ガイドライン」等でも一番基本的な考え方となりつつあります。

(黒岩 史郎)

次回に続く⇒

医療班コーナー



冬の養生

冬は一年で一番寒い季節。動物は冬眠に入り身体を休ませる時。

寒いだけで身体は固くなりやすく頭痛、胃痛、関節痛などが出やすいのも特徴です。筋肉や関節などが縮こまり、足のけいれんや気管支炎、心臓や脳の血管などの病気の発生率がぐっと高くなります。

そこで冬の養生ポイントは「腎」を労わること。

ここでいう「腎」とは中国医学的な広い範囲での機能のことです。

一般的な腎臓の『ろ過装置』以外にも『元気のタンク』という意味があります。

例えば、歯や骨が強くなる、頭が良く働くのも腎の力のおかげです。身体の元気、成長、丈夫さの全部を支える大事な働きを持っています。

腎が喜ぶ3つの生活習慣

- (1) 早寝遅起き
- (2) 身体を温める食材を食べる
- (3) 身体を冷やさないように過ごす



おすすめ食材

- ※ もち米、うるち米、山芋、じゃが芋、いんげん、栗、黒ごま、しいたけ、鶏肉、羊肉、海老 ⇒ 元気をつけ、身体を温める
 - ※ ほうれん草、人参、イカ、豚肉、牡蠣、落花生、ぶどう ⇒ 血を作り、身体へ必要な水分を補う
 - ※ そば、らっきょう、ちんげん菜、グリーンピース、みかん、黒酢、ジャスミン茶 ⇒ 血流を良くし、体内循環を促す
 - ※ ニラ、唐辛子、生姜、山椒、にんにく ⇒ 内臓を温め、内側から寒さを追い払う
-
- 魚、肉類 : 栄養が豊富なため、冬は積極的に
 - 辛いもの : 血の巡りを良くし身体を温める
 - 甘いもの : エネルギー効果が高いので冬場は役に立つ

いつのまにか季節を問わず、豊かな食材に恵まれありがたいかぎりですが、顧みれば我々も動物。寒いときに温まるものを、暑いときに涼まるものを。当たり前のようについ忘れがちなこうした自然との共生、身体にも届けてあげたいですね。

～TMG～



TMG（楽しく（T）未来社会（M）学習班（G））のページ

TMG という専門班ですが、そもそも専門班の位置づけは、その班名において聞こえない人たちがどの様に関わっているかを深く研究し、その内容を組織内や組織外へ発表する事に意義があります。

地域班はその地域で聞こえない人たちの問題を広める意義があります。

従って TMG は未来社会でみんなが楽しく暮らせる社会を目指して学習しています。

今回は 12 月 21 日(日)、オンラインで学習会を行います。

手話通訳者実態調査 2025 を実施

5 年に一度実施される「雇用された手話通訳者の労働と健康に関する実態調査」が 10 月に行われました。ご協力ありがとうございました。

今回の実態調査の特徴は、

- ①全国手話言語市区長会、手話を広める知事の会の協力が得られました。
 - ②調査の回答について、紙ベースかホームページのいずれかで可能となりました。
 - ③企業や団体に訪問調査を初めて実施しました。
 - ④電話リレーサービスのオペレーターに日本財団の協力の下に実施しました。
- 今回も厚生労働省の障害者総合福祉推進事業の委託を受けて実施しました。

デフリンピックが 11 月に開催（その 1）

デフリンピックも、来月に迫ってきました。私は、射撃の会場で 3 日間、ボランティアをやる予定です。そんな中、これとは別に、国際手話なども学べる講座に参加しました。聴覚障害者理解が進む機運になっていると感じ、2 つご紹介します。

1 つ目は、国内外の旅行者に東京の魅力を紹介する、東京観光ボランティアの研修です。ろう者と会うのも初めてという受講者も多い中、聴覚障害者に関する正しい知識と配慮の仕方を学びました。講師はデフサッカーの元日本代表監督の植松隼人さんで、デフリンピックの啓蒙活動にも意欲的に取り組まれている方です。

2 つ目は、誰でもいろいろなボランティア活動や研修に応募できる、日本財団ボラセンの「ぼ活!」です。先日、デフ陸上の山田真樹選手と手話通訳士の橋本一郎氏のセミナーがありました。デフリンピックでは、ボランティア登録できなかった人こそ実際会場に来て、声が届かないデフアスリートにも伝わる応援方法があるので、是非一緒にやっていただきたいとのことでした。それが選手への大きな力になるでしょうし、海外のデフアスリートや応援団とも交流できるかもしれないとのことでした。

皆さま、是非、会場に足を運んでください。

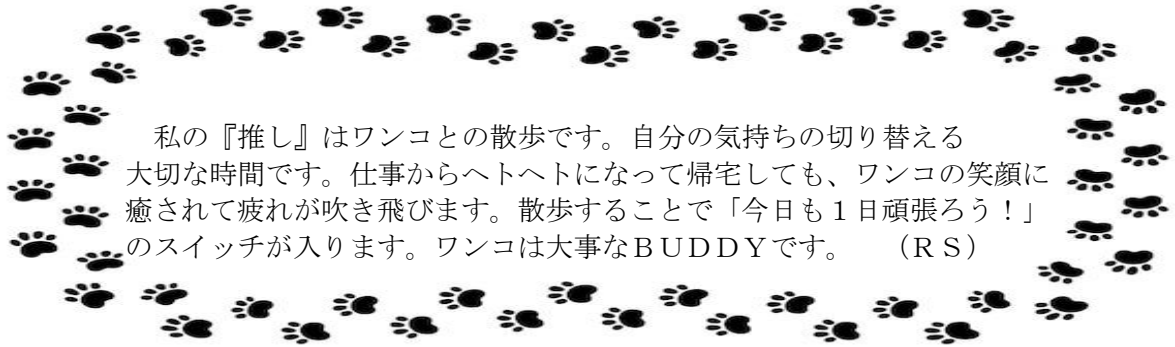
（鎌ヶ谷班 平田 真貴子）



私のイチオシ

…八街班…

今回は、若手メンバー&昨年度八街班に仲間入りしたメンバーに聞いてみました。みんなの『推し』最高です！！



私の『推し』はワンコとの散歩です。自分の気持ちの切り替える大切な時間です。仕事からへトへトになって帰宅しても、ワンコの笑顔に癒されて疲れが吹き飛びます。散歩することで「今日も1日頑張ろう！」のスイッチが入ります。ワンコは大事なBUDDYです。 (RS)

私の『イチオシ』は温泉の炭酸水です。炭酸ガスが皮膚から吸収されて血管が拡張し、血流がよくなることで、冷え性・肩こり・腰痛の改善・疲労回復・美肌効果・新陳代謝の活性化・リラックス効果などが期待できるのだそうです。
リラックスし過ぎて、仕事前の入浴は我慢しなきゃですが・・・(CT)



わたしの『イチオシ』はアントニオ猪木さんのポエムです。
特に【道】が好きです



道

この道を行けばどうなるものか、
危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし、
踏み出せばその一足が道となり、
その一足が道となる。
迷わず行けよ、行けばわかるさ。

アントニオ猪木さんが大好きで、成田空港で会った時に握手いただいた記憶を大切にしています。 (MN)

地域班通信

市原班：8、9、10月にかけて、何かと手続きしなければならないことがあり、やっと一段落しました。なので、後回しにしていた带状疱疹の予防接種を予約しようと思います。認知症の予防にもなるそうなので、補助金が出る今がチャンスかなと。家族に迷惑をかけないように、健康第一ですよ。皆さんもご自愛ください。

船橋班：9月23日「手話言語の国際デー・手話の日」に東京デフリンピック応援イベントがイオンモール船橋で開催されました。買い物客も見学していました。ポロシャツに書かれた文字を見て何て書いているのか話していたので、11月開催のデフリンピックの説明をしました。関心を持ってくれたら嬉しいです。（YY）

印西班：政治に関心を持ち続けています。日本のトップは短命が多いです。1年余りで顔が変わったら国内外にとっても認識してもらえません。若返りも望みますが実行力も期待します。有言実行！地球温暖化、人口減少、少子高齢化など問題山積。若者に明るい未来がありますように。（U）

習志野班：11月の日本は澄み渡る青空の下、紅葉に彩られる美しい季節です。そんな中、世界中からデフアスリートが集うデフリンピックが日本で初めて開催されます。選手の皆さんが日々の努力と鍛錬の成果を魅せる大舞台です。迎える私たちは彼らの活躍に期待を寄せ、心からの声援を送りたいと思います。

白井班：話題の映画を4DXで観てきました。上下左右の動き・風・香り・ミスト・煙で映画に没入できる体感型です。動きがものすごく激しいから気を付けてと言われオーバーだと思っていたのですが、聞いていたとおり椅子から落ちないように何度も坐り直すぐらいでした。面白かったけどぐったり。この体験は1回で十分だと思いました。

富里班：東京2025デフリンピックが目前に迫りました。機運醸成のための各種イベントや各地域の取り組みもあって、認知度がかなり上がっていると聞き、手話に携わる一員としてうれしい限りです。手話サークル若手組の方々のお陰で閉会式を観覧できることになりました。二度とないチャンス。雰囲気を感じることができるのが楽しみです。

わかしお班：陸上の世界選手権で100メートルのエキジビションレースにデフ陸上の選手が力走。男子円盤投げにデフの湯上選手が出場したり、またデフ卓球の亀澤選手が巨人VS中日戦の始球式に登場したり、デフリンピックを盛り上げる為の行事が多く、楽しみです。手話の拍手で全力応援です。（YK）

市川班：猛暑がいつの間にか涼しくなり、秋本番。秋と言えばお祭りですね！市川市の行徳地区は「市川市行徳ふれあい伝承館」「行徳神輿ミュージアム」「常夜灯」をはじめ寺社仏閣が点在していて、ちょっとした秋のハイキングがお勧めです。施設については開館時間を確認したうえでぜひ市川市にお越しくださいね。

八街班：近所の幼稚園で秋の運動会があり、頑張れーと応援しているかわいい声が聞こえ、自分に応援をもらった様な気持ちになり、嬉しくなりました。秋の運動会やキャラバンイベントなどたくさんあり、楽しみです。

海匠地域班：いよいよ11月！デフリンピックの開催です。旭、匠瑳での取り組みは、観戦、元デフリンピアンとのスポーツ交流、パネル展示、ブルーライト等です。班員、地域のろう協会、行政等への相談、皆の協力があってイベントに漕ぎ着けました。この協力体制を継続し、引き続き地域防災や条例制定に繋がって行く事に期待したいです。

成田班：6月の暑い日、「東京デフリンピック 2025 開閉会式出演者オーディション」にこっそり参加しました。書面での1次審査、合格！心躍らせて2次審査のオーディション会場へ、見事に不合格！でした。ろう者の演出家大橋弘枝さんはとてもパワフルな方で、楽しくて面白かったです。もうすぐパラリンピックが始まります。私が活躍？予定だった開会式楽しみに待ってます。

八千代班：「田門浩さんの話を聞く会」の集団視聴をした。おそらく八千代は、どこよりも田門さんの活動に関心を持っている地域である。初めての実施、平日夜の開催にもかかわらず10名が参加。集団視聴の可能性が見えた。今後も「must」と思わずぼちぼち開催できればいいなあ、と思う。なにしろ班の方針は「無理のない範囲で」なので...

松戸班：2年後「耳の日まつり」の会場予定と聞き、前回担当経験者のろう者をお呼びして当時の様子を話していただいた。第17回(H10.3.1)は、朝から雪で心配したが、千人を超える参加者で会場は一杯になり関係者一同安堵したとの事。手話サークルからも多くの会員が前日の準備と当日の各部署を担当し、無事終了した時には「ろう協とサークルの強い一体感を味わえた。」との感想を聞くことができました。(TK)

鎌ヶ谷班：数年間、股関節が悪く歩けませんでした。2年前に思い切って介護サービスの申請をして「介護2」の認定を受けました。デイサービスのリハビリに通い自転車こぎや平行棒を伝わっての歩行などの指導を受け徐々に歩けるようになり自信ができました。今では外出ができるようになり介護サービスを受けてよかったと思います。(YA)

千葉市班：4年経過し、充電の減りが早くなったのでiPhone17に機種変更。1台16万円、子どもたちの分も合わせて48万円!! 高い!! もちろん便利だし、必要だけど、元は一家に一台の黒電話の進化系。この20年余でこんなに依存することになるとは。1台30万、40万円になっても、私たちに持たないと言う選択肢はなし。ふう～。

六つ星班：「最後まで諦めずに苦手な事にもトライ！ たくさんの夢に憧れ生きる人生を」座右の銘に。ずいぶん前に支援学校の野球の試合を応援していた時、アウトになりそうで諦めた選手の姿に諦めない精神と誰だって夢に憧れて生きる人生送りましょう。一つでは破れた時立ち止まってしまうからたくさんの夢の方が善いかなと。

流山班：人間ドック受診。いつものところで、胃カメラの予定だったが、予約が遅れ、胃カメラ枠は年内取れないと。再任用のため、10月中に受診するよう人事からの通知を見逃して慌てて仕方なくバリウムで予約した。みなさん、がん検診含め健康診断（人間ドック）はしっかり受けてくださいね。（emiko）

かずさ班：先日、職場で片付けをしていたら、コロナが流行し始めた頃書類が出てきました。いろいろ大変だったなあ…。今月の学習会は、班長からお茶とお菓子の差し入れ！ 皆でお茶を飲みながら、話（手話）ができる時間も、やっと日常的になってきましたね。今年の南総地区講座は防災をテーマに準備中。自然災害、感染症…非常時に慌てないように、しっかり学びたいと思います。（JH）

八街市手話言語条例制定！

9月10日、八街市議会において『八街市手話言語条例』が全会一致で採択されました。採決時はピンと張り詰めた静寂の中で市協会、サークル、八街班メンバー総勢20人が傍聴し『可決承認』の声を聴くと、「やったぞ！！」と喜びを分かち合いました。

条例制定に向けて行政側へ協会と共に幾度となく話し合いを重ね、条例前文には市の協会から要望のあった、『手話言語の5つの権利』を盛り込みました。

また、条例制定に関する学習には行政担当者の参加も働きかけ、東総地区講座、市協会企画の県協会植野理事長の学習会に障がい福祉課長、担当職員にも参加をいただき学びを深めました。

条例は制定が終わりではなく、スタートラインに立ったにすぎません。条例施行日は9月23日『手話の日』と同日になりました。この記念の日を胸に刻み、聞こえない人が暮らしやすい環境作りや手話言語の理解普及を、市協会、サークルと共に活動し、盛り上げていきたいと思ひます。

（八街班 杉本 利恵）

役員短報

日時：10月5日(日) 9:30-12:10

会場：オンライン

参加者：17人

<主な議題>

○三役

- ・役員必携については各部の修正を提出してもらい最終確認をする。

○広報部

- ・10月号掲載記事の確認
- ・11月号掲載内容の確認
11月号はキャラバンカー特集を掲載。各地域班などに協力してもらい写真等を掲載します。
- ・12月号の地域班通信は、デフリンピックの応援者からの原稿を掲載したい。

○組織部

- ・会員拡大 324人(9月30日現在)
継続者の確認をして呼びかけをする。
- ・総武地区講座では通信状態が不良になってしまった。オンライン参加者には後日映像を配信する。
- ・北総地区講座
10月11日(土) 13:30-15:30
松戸市 ふれあい22
川根紀夫氏
- ・地域班会議(9月7日)の振り返り
- ・手話言語条例に関する情報を収集している。八街市と四街道市が9月議会において可決成立した。
- ・役員選出におけるアンケートを地域班に配布した。

<部・班の報告>

○三役から

- ・関東支部代表者連絡会議(9月28日)、代議員ブロック別会議(関東地区)、関東通研学習会(10月4日)の3つの会議が開催された。

・「雇用された手話通訳者と労働と健康についての実態調査」を10月1日に実施した。10月20日(月)が回答締切日。

○広報部

- ・10月28日(火) 8:00-9:00 部会

○組織部

- ・10月26日(日) 部会

○N-Action ちば

- ・10月5日(日) 20:00-21:00 学習会

○研究部

- ・研究部会を10月19日(日)に開催。

○健康対策班

- ・12月13日(土) 学習会

○楽しく未来社会学習班

- ・9月28日(日) 学習会

○保育・子育て支援班

- ・10月5日(日) 学習会

○ろう教育班

- ・10月25日(土) 银杏祭見学

○労働班

- ・9月21日(日) 10:00-12:00 学習会

○ICT ちば

- ・10月19日(日) 会議開催予定。

○後援会

- ・11月23日(日) 秋穫祭
ちば通研からは書籍ブース、バザーブース、お米すくいイベントを行う。

○事務局

- ・12月14日(日) 中間監査を実施。

今後の予定

○11月2日(日) 役員会

○11月8日(土) 組織部会議

○11月15日(土) デフリンピック開会
~26日

○11月23日(日) 秋穫祭

○11月25日(火) 広報部会議

○11月26日(水) デフリンピック閉会

○11月28日(金) サポーターズ印刷日

○11月29日(土) 関東通研支部代表者
連絡会議

○11月30日(日) 医療班学習会

お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.cocacn.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは
パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記のアドレスへ。

E-Mail: syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本名
もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切は11月15日(土)です。

E-Mail: c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX: 043-247-1201(早朝・深夜は不可)

会費の納入のお願い

2025年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は
ご負担ください。複数人まとめての納入は、全員の名
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号: 00120-4-708239

加入者名: 千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで
無料です。

けいわん 110 番

＜医療的な相談窓口＞

滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)

TEL: 077-548-2187

FAX: 077-548-2189

＜仲間を守る取組みに関する相談窓口＞

FAX: 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通研健
康対策班に、ご相談ください。

FAX: 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近は、災害はいつ起きてもお
かしくない状況です。そのため、会員の安否確
認をよりスムーズにするため、専用のフォーム
を開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1TCt53>



あ と が き

10月は行事が多く私も他団体のお手伝
いで秋まつりバザーに行ってきました。
昨年に続き、今年も途中から雨に・・・！
いつも参加の「雨女の彼女」は都合でい
なかったのに何故かまた雨・・・！

デフリンピック開催には、雨や晴れ男
女が大勢集うことなのでしょうが、競技に支
障をきたすことなく晴れてほしいもので
す。(IT)

今年6月より受講していた「手話がで
きるヘルパー養成講座」。本号が手元に届
く頃には修了試験に合格しているはず。
受講生13人のうち聞こえる人は私含め4
人。途中から質問も手話で。でもさすが
に気付きますよね、聞こえない仲間たち
は私の手話ではなく後ろに立っている通
訳の手話を見ていることを(汗)。まだま
だ先が見えないけれど頑張ろう！(YK)